

2011-03-23 16:15 FROM ほうさいほうしな けんちょう

TO トウセイカイシツ マ

P.02

第46回福島県災害対策本部会議（概要）

災害対策本部総括班まとめ

1 日 時：平成23年3月23日（水） 10:10～10:40

2 場 所：災害対策本部・自治会館303号室

3 内 容：

【災害対策本部】

（1）最新の被害状況について

事務局：（第60報により説明）

今朝、いわき市で震度5強の地震あり。常磐道が一時通行止めとなったが、8時45分に解除された。特に大きな被害の報告はない。

（2）第一原発20～30km地域の住民避難状況について

文化・スポーツ局長：

南相馬市原町区で在宅の要介護者は約170名

昨日は本人と家族合わせて32名は栃木県に移送済み。本日も、本人+家族23名を栃木県に移送予定である。今後も希望者がいれば対応していく。

（3）南相馬市の職員による調査の結果について

調査職員：

先週から南相馬市へ調査を実施した。

ライフラインは、一部停電があるが、ほぼ通常どおり。

自主避難者と自宅待避者が混在しており、市の行政運営は困難な状況がある。

市では自主避難を勧める方針。自宅待避者のライフラインの維持が重要だが、マンパワーが不足しており、国に強く支援を要請している。

物資は、民間運送業者が直接入ってこない。30km 圏外に中継地点を作り、そこから入ってくる状況である。

要介護者の方の中からは、地域に残りたいとの声がある。引き続き鋭得すること。

知 事：

援助物資は届いているのか。

援助物資を市民向けとしてうまくいかないのか。市と調整すること。

松本副知事：

バスでの自主避難は終わった。今後の見通しは。

2011-03-23 16:15 FROM ほうさいファマ ケンチャウ4

TO トウセイカイジツ ママ

P.03

調査職員：

市では再度自主避難を呼びかけている。しかし、応じる人がどれだけのいるのか、あまりいない可能性がある。

松本副知事：

市の負担を軽くするためには、自主避難を進める必要がある。
住民が自主避難できるよう、バスや燃料などの環境を整えること。

(4)「避難所入居者情報センター」情報の整備・利用状況について

企業局長：

(資料により説明)

問い合わせの件数は、若干減少傾向である。

松本副知事：

生活資金は。

文化・スポーツ局長：

生活資金は補填予算で対応していく。今後、情報をお知らせしていく。

松本副知事：

県外への避難者の状況は。

観光交流局長：

約2万3千人台で、ほぼ横ばいである。各県からの調整事項も大きくなっている。今後、各県への派遣職員の中に責任者を置き、5名体制として派遣する予定である。

知 事：

避難所の避難者数は前日より1,300人減少している。実態としては家に戻っているのか。

観光交流局長：

自宅に戻っている者もある。

松本副知事：

住宅の確保については、入居者の選考にあたり、市町村の状況を把握しアンケート調査を行うなどロードマップを作って作業を進めること。

生活支援については、生活資金、銀行融資、中小企業つなぎ資金などについて、チラシを作るなど県民に分かりやすく広報をしていくこと。

2011-03-23 16:15 FROM ぼうさいワグシマ ケンチャウ4

TO トウセイカイシツ サマ

P.04

【原子力災害対策本部】**(1) モニタリング結果について**

生活環境部次長：

今朝の地震による原発への影響について、現時点では報告はない。

別紙モニタリング1～4により説明。

(2) 飲用水について

保健福祉部長：

3月22日に厚生労働省から、飲用水で100ベクレルを超える地域には、乳児の飲用を控えるよう要請し広報するよう依頼があった。給水車、ペットボトルにより代替の確保を図っていく。

(3) スクリーニングの活動状況について

保健福祉部長：

(資料により説明)

(4) 放射線に関する問い合わせ窓口の利用状況について

企画調整部長：

(資料により説明)

食品、野菜、水道水に関するものが多い。また、農業者が今後どうするかので問い合わせが多いので、農林水産部と調整しながら検討したい。

放射線に係る講演会は、本日は会津若松市、24日大玉村、25日飯舘村、26日郡山市で開催予定である。

【内藤 政府原子力災害現地対策副本部長あいさつ】

現在、原子力発電所やJビレッジで情報収集をしており、情報は県の方とも連携を密にしながらスピーディに提供してまいりたい。

官邸へも即時情報を上げている。御協力をお願いしたい。

松本副知事：

現状は、地震による災害の対応、原子力災害の対応、市町村の機能喪失という3つの課題を解いていく大変難しい状況にある。

被災者へ対する支援が後手に回ってはならない。しっかり対応してまいりたい。

2011-03-23 16:16 FROM ホウサイワアミ ケンチャウ4

TO トウセイカイシツ ヲマ

P.05

知 事:

このところ農業関係、飲料水など、毎日のように局面が変わっている。県民の安心のために、正しい情報を早く、しっかりと伝えていくこと。